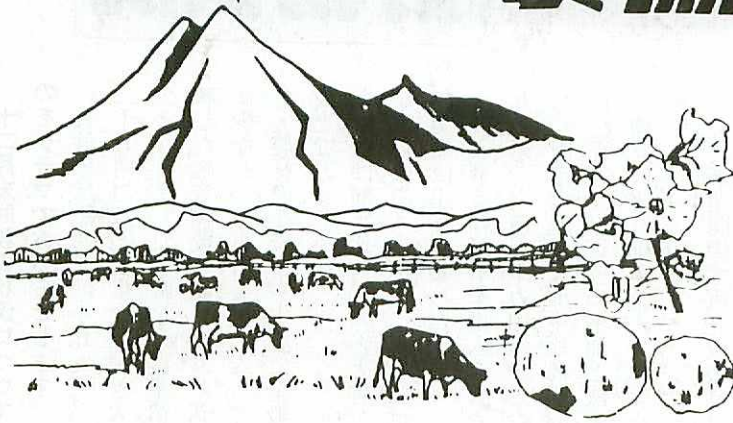


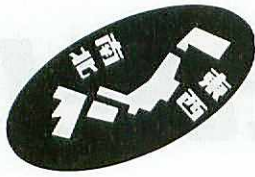
なか/べつ 農協だより



146
号
昭和62年2月

発行 中標津町農業協同組合
編集 営 農 部
印刷 術 板 野 印 刷





農協の財務状況

十二月末財務の状況について主なものグラフでお知らせします。

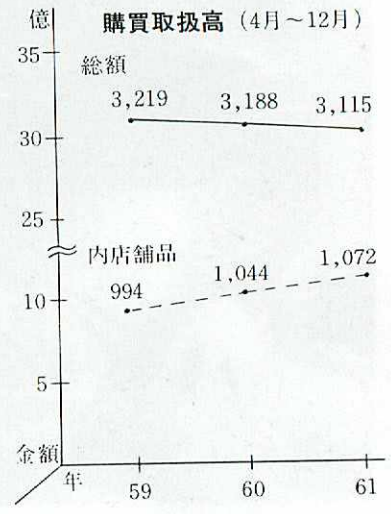
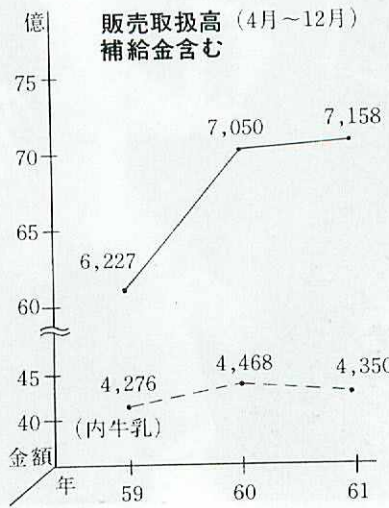
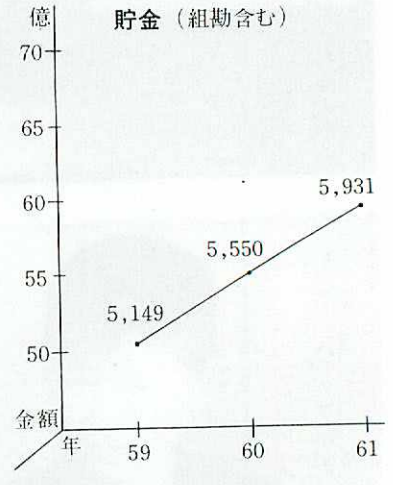
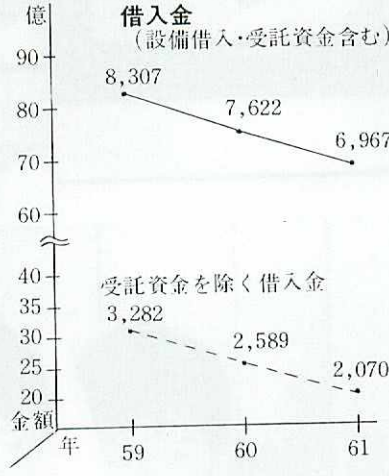
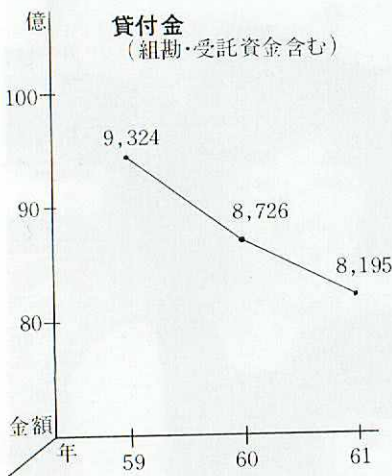
貸付金は総額で前年比九三%、五億三千万円の減と前年に引続き大巾な減少となりました。厳しい農業情勢を反映した投資需要の減により、新規借入が少なかった事も要因となって受託資金・農林漁業資金を中心に全般的に減少となりました。

貯金は前年比一〇六%と伸びましたが、目標の六〇億円に対しては九八%の実績に止まりました。

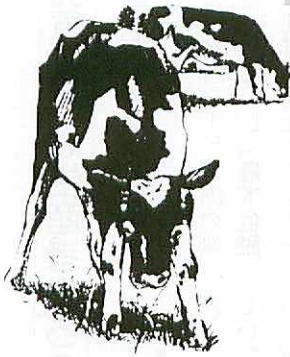
借入金には経済事業借入を含め前年比九一%、六億五千万円減少となりました。固定資産は、前年比九四%と減、自己資本は出資金の増加と法定準備金の積立により前年比一〇六%と増加しました。

次に事業関係で販売取扱高は牛乳代が前年比九七%と下廻りましたが、特に育成牛について価格も堅調に推移した事もあって取扱が増え、総体取扱高では前年比一〇一%と上廻った実績となりました。購買事業では価格の値下り、その他の要因で飼料の取扱が前年比七二%、二億八千万円下廻った事により、これを総体でカバー出来ず前年比九七%の取扱実績となりました。この中で生活店舗については一〇二%と若干取扱を伸ばしています。

各年度12月31日 単位百万円



1kgの乳代単価、最高と最低の差が、11円69銭!!



私達をとりまく酪農情勢は、保証乳価の引下げに始まり生乳の計画生産割当、円高による輸入乳製品の圧力等誠に厳しいものがあります。

このような情勢の中にあつては乳質の向上をめざし工夫と努力によつては、乳代単価を上げ経営の安定を図る事が出来ます。

今月から毎号、月毎の乳成分、乳代のベストテンを記載しますので参考にしながら乳質の向上に努めて下さい。

十二月の乳代単価は平均八四円八〇銭で、最高と最低の差は、十一円六九銭もあります。計画生産の中にあつてもあなたの努力によつては所得をもっと上げる事は可能です。

乳質改善で、所得の向上を

12月分 乳成分・乳代ベスト10位

順位	脂肪率		無脂固型分率		乳代単価	
	氏名	%	氏名	%	氏名	円
1位	大木敏夫	4.41	篠永栄	8.77	大木敏夫	91.42
2位	大西一郎	4.31	佐藤一広	8.76	大西一郎	90.10
3位	中村敏夫	4.27	峰松秀樹	8.72	三輪貞夫	90.07
4位	本田萌	4.25	久我良夫	8.70	中村敏夫	89.65
5位	三輪貞夫	4.23	五十嵐輝夫	8.70	本田萌	89.32
6位	小針和也	4.21	佐々木昭雄	8.69	松村晴由	89.17
7位	松隅健二	4.19	丹羽賢一	8.69	五十嵐輝夫	89.17
8位	板橋松寿	4.18	三輪貞夫	8.68	板橋松寿	88.92
9位	松村晴由	4.18	久保慶一郎	8.68	今井靖清	88.75
10位	古瀬豊	4.16	赤波江一彦	8.68	古田起夫	88.61
平均		3.80		8.45		84.80
最低		3.42		7.99		79.73



農協青年部有志の麻雀大会が、一月十九日協和の会館で行なわれた。毎年優勝者が出た支部が当番地区となり開催する事になっており、今回は中標津支部が当番地区、参加者五十一名で、熱気あふれる中で百三十六個の雀パイの音がこだました。優勝は、第二俣落地区の遠藤勝美君で、部長杯と持ち切れない程の賞品と、来年の当番地区の重責を背負って、山へ引き上げて行った。

通信員 だより

青年部有志の
熱気ほとばしる
麻雀大会

乳質改善は生産者自らの意識と努力から!!

遅々として進まぬ乳質改善」という題をもって、六十一年二月号に六十年管内の細菌検査表を掲載し「最下位脱出」「乳質の向上」を目ざそうと呼びかけて来ましたが、六十一年の成績を見ると今年



もまた、名実共に管内一戸を維持していると言うのが現実である。
前年と比較して見ると細菌数三〇万以下では十四・一%上回り年々改善の傾向は見られるが、乳業工場で受け入れ拒否となる規格外乳(四〇〇

万以上)においては、六十年では三台で二四台であったものが、十二月末で既にローリ六台分、四五台(四〇〇万円)が検出され、「厳しい厳しい」と言う酪農情勢の中にあつて、時代の流れに逆行する形で進む傾向にあります。
幸いにしてまだ受け入れ拒否にあつていませんが、何時あつても不思議でないという状況にあります。これ等についてはローリの乳代、諸経費の全てを発生原因者が弁償する事となり大きな負担となります。
日頃からバルクの作動や乳温、搾乳機器の洗浄など充分注意と配慮をお願い致します。
乳質改善は生産者自らの意識と努力が大切です。
六十一年八月から検査方法をレサズリンからブリード検査法に変えました。その結果十二月末で細菌数三〇万以下の組合員は百二〇戸、細胞数三〇万以下の組合員は二八戸、細菌細胞ともに三〇万以下の乳質改善優秀農家は別表の十八戸です。日頃から乳質に対する努力に対して敬意を表します。

注意と配慮をお願い致します。
乳質改善は生産者自らの意識と努力が大切です。
六十一年八月から検査方法をレサズリンからブリード検査法に変えました。

昭和61年度 合乳取引細菌数検査成績表 ()内60年

農協名	4 ~ 12 月					
	30万以下	31 ~ 50万	51 ~ 100万	101 ~ 200万	201 ~ 400万	400万以上
羅白	98.4 (47.3)	0 (22.5)	0 (23.2)	1.6 (0)	0 (7.0)	0 (0)
計根別	92.6 (79.8)	4.4 (12.2)	1.6 (7.5)	1.4 (0.5)	0 (0)	0 (0)
上春別	90.9 (79.0)	2.2 (9.9)	4.6 (10.4)	0.4 (0.7)	1.5 (0)	0.4 (0)
標津	89.5 (83.5)	6.5 (5.9)	2.3 (7.9)	1.4 (2.7)	0 (0)	0.3 (0)
別海	88.2 (75.1)	5.8 (16.0)	3.8 (7.3)	1.2 (1.1)	0.8 (0.3)	0.2 (0.2)
西春別	80.3 (62.4)	7.7 (17.5)	6.0 (15.4)	4.0 (4.4)	0.9 (0.3)	1.1 (0)
中春別	77.6 (66.9)	12.1 (21.6)	8.6 (8.7)	1.7 (0.8)	0 (0)	0 (2.0)
根室	76.8 (66.0)	13.0 (22.0)	8.7 (9.2)	1.1 (2.8)	0.4 (0)	0 (0)
中標津	76.8 (62.7)	7.6 (13.7)	10.5 (16.6)	2.9 (5.1)	0.7 (0.4)	1.5 (1.5)
合計	84.1 (71.2)	7.4 (15.7)	5.7 (10.2)	1.9 (2.1)	0.5 (0.2)	0.4 (0.6)

乳質改善優秀農家

(細菌・細胞数30万以下)

昭和61年8月~12月

地区	農家名
当幌	飯島精市、安田 稔
侯落	管原 弘、上村 力、小谷盛一
武佐	坂口 弘
中標津	花川 稔、佐藤 東
俵橋	沢口俊夫、伊東信一、古田起夫、日下一芳
第2	山口広幸、米栖 寛、町田芳照、宮脇正夫
侯落	武田三郎、杉本匡視

農協・共済連から出産祝記念品のプレゼント

61年度より農協・共済連が一体となり農業後継者の子弟誕生に対する支援活動の一環として、61年4月1日以降、出産された方に素敵なオルゴール付アルバムをプレゼント致しております。
つきまして、該当になる方は、お子様のお名前と誕生年月日をお知らせ下さい(アルバムに記載する為)。尚、アルバムは頼んでから10日前後でお渡し出来る予定です。
担当 共済係



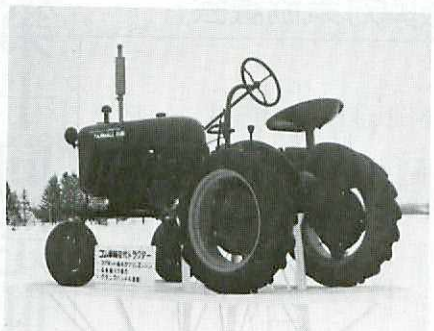
「こんにちは裕行くんデス」

乳質改善は基本が肝心

30万以下の決めては(細菌細胞数30方以下)

生乳中の細菌を三〇万以下にするには、まず搾乳機器の洗浄が大事なポイントです。正しい洗浄方法は、洗剤濃度、温度、時間(最低でも一〇分間循環)これだけを守れば九〇％は可能です。残りの一〇％はバルクの管理をしっかりとすることで見える汚れが搾乳機器についている様では一年を通じて細菌を三〇万以下にするのは困難です。又どうしても汚れがとれなければ、農協の酪農課へ連絡下さい。現地にて洗浄致します。又

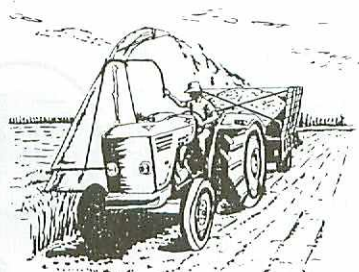
細胞を三十万以下にするにはP.L.テストの実施。たとえばP.L.テストで#(スリープラス)ですと二〇〇万から五〇〇万の細胞があります。この様な牛乳を混入すると三〇万以上の合乳になります。又デッピンクを實施して新たな乳房炎牛の発生を極力防止するのも大切です。又慢性乳房炎、何回も乳房炎をくり返している牛を淘汰するのも必要と思います。



西暦1924年(大正13年)アメリカで製造された、スクラップ同然のトラクターを丁寧に復元し、庭の一隅に展示、毎日眺めてご満悦の組合員さんがいる(匿名希望)。道内でも3台しかないとか?ゴム車輪で初代のトラクター、マコーミック インターナショナル ファーモルカブを知る貴重な代物です。ガソリンエンジンでマグネットで点火、4気筒の9.5馬力、クランクハンドルで始動。

土壌診断研修会関係機関が集まり勉強

た畑作においても厳しい中で単作経営を営み、有機質の不足で生産力の低下等があげられる。この難関を打開し乗り切るためにも個々の土地を総点検し、主要生産資材の効率的な使用を取り進めるために、今回、中標津町・農業共済組合・雪印中標津工場・農協協営農・生産・購買の各部、農業改良普及所など関係者四〇名が集まり勉強会を行った。写真。



土づくり 北の大地に富を呼ぶ

昭和六十年より当農協管内全戸を対象にして土壌診断事業を関係機関の協力により開始した。六十年度は、武佐・俵橋地区の百二〇戸。六十一年度は当幌・開陽・中標津地区で百八戸が終え、六十二年度中には全戸終了を目標にしております。北根室地方の土壌は大部分が摩周系火山灰で覆われ、りん酸吸収係数が高い不良な土壌条件と、冷涼な気象など過酷な条件にも関わらず着実に発展しておりますが、昨今の酪農情勢は牛乳乳製品の消費低下、農畜物の輸入市場解放、乳価の低迷、ま

今後粗飼料分析、乳成分と合わせた中での技術指導体制を整え、推進に向つて全戸に「土壌診断と活用の手引」を配付する予定です。ので、皆様方のご協力をお願い致します。

第十回定期総会開催される

昭和62年度 中標津町農協、馬鈴しよ振興対策協議会

昭和六十二年度中標津町農協、馬鈴しよ振興対策協議会第十回定期総会が、一月二十一日、農協大会議室を会場に、耕作者三十六名（本人出席三十名、委任出席六名）の出席で開催されました。

上原会長挨拶のあと、農協、児玉組会長、普及所、松岡所長の祝辞をいただき、議長に、筒井留雪氏を選出の上、提出議案の審議が行なわれ、議案第一号、昭和六十一年度の事業及び、収支報告、議案第二号、昭和六十二年度の事業及び、収支計画（案）が原案どうり承認されました。議案第三号の役員定数については、審議の結果、現、役員定数二十一名を、十六名とすることに決定しました。

また、議案として提出された、緑肥対策については、更に、数年間の継続を要望することとし、馬鈴しよ一般のアブラ虫一斉防除については、実施することが決議され、農薬代の一部助成を、農協、町に要請することになりました。引続き行われた、役員選出については、万場異議なく、現役員全員の留任が決定されました。



会長	上原 徳保
副会長	安達 勉
監事	武田 勇
	大内 利市
	真島 正義

北海道地方長期予報

2月から4月の

3カ月予報

1月20日札幌管区気象台発表

気象概要

この期間、前半は和らぐ日が多いでしょう。後半は四月を中心に寒い日が多い見込みです。

月別予報

二月 冬型の気圧配置は長続きせず。寒さのゆるむ日が多いでしょう。

平均気温はやや高く、降雪量は昨年並ですが日本海側はやや少ないでしょう。

三月 天気は周期的に変るでしょう。一時、寒い時期もありますが、長続きしない見込みです。

平均気温、降雪量とも昨年並でしょう。

四月 時々寒さの戻りがあり日本海側を中心に曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温はやや低く、降水量はやや多いでしょう。

貧乏になったり、富裕になったりするのには偶然でない。富も富むべき原因があり、貧も貧となる原因があるのである。人びとは、財貨は富者のところに自動的に集まるものであるかのようになっているがそうでない。財貨というものは、節儉な人とよく努力する人とのところに集まるものである。分外にはみ出した生活をするか、分内に切りつめた生活をするかの違いだけで、

報徳
一口メモ
貧富の原因

貧となったたり富となったたりするのである。世の人は、今自分が財貨がなくて貧乏になった原因はなにかということを考えようとしなさい。ただ山彦みたいに無いから無いではいけないのだ。今、金がないのは物を買ったからだ。今、金があるのは働いたからだ。これは明白なことだ。貧になった人も富んだ人も、それぞれそういう原因を自分で作った結果なのだ。（報徳情報より）

昭和62年度 中標津町農協

てん菜生産振興会

第10回

定期総会開催される



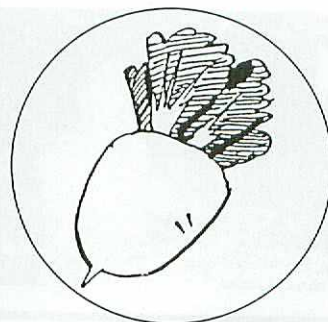
昭和六十二年度中標津町農協、てん菜生産振興会第十回定期総会が一月二十三日、生産者二十六名（本人出席十九名、委任出席七名）が出席して、農協大会議室で開催されました。

長繩会長の挨拶のあと、農協、鷺見副組合長、普及所、松岡所長、ホクレン原料所、大山副主任技師の祝辞をいただき、議長には、滝場慎二氏を選出の上、提出議案の審議が行なわれ、議案第一号、昭

和六十一年度の事業及び収支計画が原案どおり承認され、議案第二号、昭和六十二年度の事業及び、収支計画（案）が一部修正の上、承認されました。議案第三号、規約の一部変更については、会計一名を削除し、監事一名を二名に変更することに決定しました。

また、昭和六十二年度原料てん菜の後期出荷について審議され、後期出荷者へのシー卜助成、ヘクタール当り、八、〇〇〇円については、総会で

の意見をふまえながら地区役員で決定することで承認され、後期出荷の方式については、生産者と、事務局が協議して決定することになりました。



農協婦人部の新年会

作品展示・芸能発表で

一日を有意義に過ごす。

農協婦人部（部長酒井拓子）の新年会が一月二十二日、菊の苑で賑やかに開かれ、年に一度の行事とあって多くの部員が参加した。―写真―

会場には手作りの漬物、鮭のソボロ、飯寿司、手芸、編み物などの作品がずらりと展示され、開会のことばで始ま



今後の活躍と実り多い秋を期待して

り、農協児玉組合長・農業改良普及所松岡所長から年頭のご挨拶と「厳しい農業情勢ではあるが、農協を砦として皆様の英知と協同の力を結集しこの難局を乗り切って行こう」と激励の言葉をいただいたあと、役員による花笠音頭の踊りやカラオケなどの芸能発表が行われた。八十人の参加者たちはジュース、ビールと料理を楽しみながら、部員の熱演、熱唱、早食いゲームに盛んに拍手を送り、冬の短い一日を有意義に過ごした。



花笠音頭を熱演？

第十一回
ヨーロッパ
酪農

人工授精
研修視察報告 ②

家畜改良課 河内谷 義一



西ドイツの酪農家で

西ドイツではミュンヘン大学、ノイシュタットA Iセンター・メグレA Iセンターを訪問し研修しました。西ドイツには五十二の人工授精組織があり、年間授精頭数は約五五〇万頭で初回受胎率は六七・二%（六〇・九〇日NR）位だそうです。人工授精の技術は、日本と相違がないと思われませんが、授精師はハンドコンピュータを持っており、授精後、農家コード・牛コード等を入力し事務所に戻ってから、大型コンピュータに入力しデーターを保存するのが一

般的になってきているようでした。これにより事務的な仕事は少なくなるため一人当りの授精頭数が日本と比べかなり多くなっています。授精卵移植については未だ本格的には取り組んでいず、ノイシュタットA Iセンターで積極的に進んでいるが、凍結卵の受胎率は好成績を得ていないようです。今後は供卵牛の獣医学的検査を厳重にしなければならぬとの事でした。

ワッシャブルグ(西ドイツ)で酪農家を視察する機会を得ました。この農家は六人家族で、シンメンタール種九〇頭(経産牛四〇頭)を飼養し、年間二・八トの牛乳を出荷しております。土地は二八ヘクタール所有しデントコーン六ヘクタール・牧草(イネ科主体)一八ヘクタール他に菜種を作付し給与しておりました。牛舎は住宅と同じ棟続きの造りになっており壁は白く塗られていた。住宅のベランダは赤い花で飾られとても奇麗でした。ここの家族は皆とても明るく楽しみながら営農しているようでした。この農家を辞する時に十二才位の長男に「将来の職業は何か」との問いに「農業です」と自信を持って力強く答えた姿が特に

印象に残り、このあたりには日本との違いがあるのではないかと考えさせられました。

フランスではIMV社・フランス国立試験場で人工授精・ETについて伺いました。フランスには七〇の協会があり、二、五〇〇人の技術者が年間七〇〇万頭に人工授精を行なっておりますが、日本と違い直検はやっておりません。授精品種は五〇〇万頭がホルスタイン種、一〇〇万頭がノルマンディ種となっております。フランスでは、検定済種牛しか人工授精用精液として使用できないように法で規制されており、かつては人工授精を普及させるために無料で人工授精をし、農家の婦人へアピールしたそうです。IMV社の授精所は一九四六年に設立された所で、種牛用の牛舎はありませんでした。種牛全頭が外にある一頭づつの半円型をしたテント様のペンで飼養されておりました。これは此の地方が積雪量が少ないことや、



西ドイツ、人工授精後デントコンピュータへ入力中のA I員



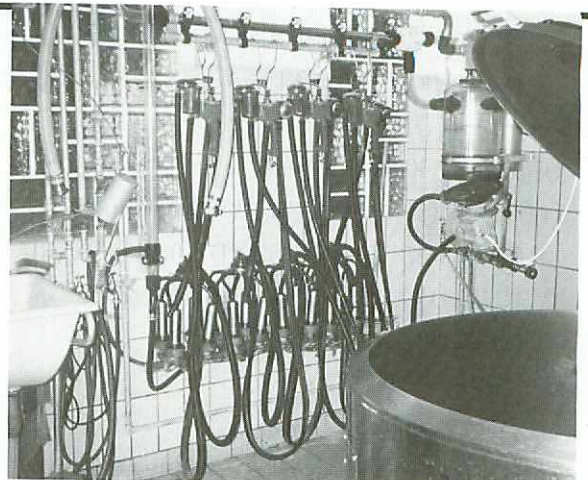
西ドイツ、ワッシャブルグの農家、奥が牛舎、手前が住宅

野性味を失わないようにとのことでした。

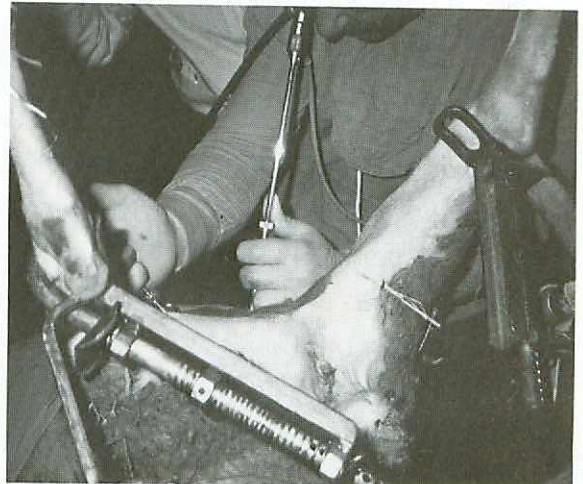
フランスの受精卵移植では、一回の採卵から分娩にいたるものは三頭程度であり、効率的にE.Tを行なうために過剰排卵は勿論のこと、受精卵を切断して移植する研究を行なっております。(日本も同様)現在のところ一個を半分にして二個にしているが、将来は二個を更に倍養して両切断を

行ない四個にする試験が行なわれています。

スイスの山岳酪農は本当に驚くような急斜地で牛が飼養されており、ただ感懐するばかりでした。スイスの酪農事情を聞く機会が無く残念ではありましたが、スーパーマーケットでは乳製品の専門コーナーがあり、数種類のチーズが売られており、食生活や消費量の



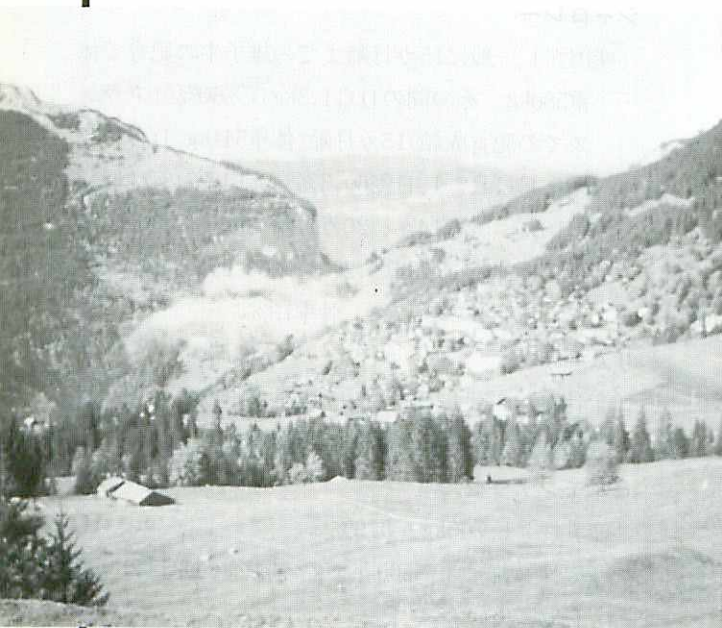
西ドイツ、清潔な処理室



フランス国立試験場でのヤギの人工授精
腹部より直接子宮へ注入



フランス、IMV社AIセンターの種牛1頭づつのベン



スイス山岳酪農

違いについて考えさせられました。わずかに二週間の視察で詳しく内情を知るまでには至りませんでしたが、ヨーロッパの酪農は歴史的な重みが非常にあり、アメリカ・カナダ型の酪農にはとらわれず良いものだけを吸収し、昔からの在来種の特性を活かしながら乳肉兼用種で、これからも更に発展させて行くものと思われました。

これから日本も選択しなければならぬ時期が来ると思われるが、我々は日本型酪農だと世界に通じるものに向かって、歩いていかなければならないと思います。最後に、組合員・役員みなさんのご理解のもと、この視察研修に参加する機会を与えて下さったことに感謝し報告と致します。

育(ドイツ)屠殺時日齢460日、同体重547kg、
D G 1.11kg、D%60%

ジャーシー

〔産乳性〕3,400kg、5.0%

〔産肉性〕(アメリカでの成績)屠殺時日齢527日、
肥育期間378日、体重359kg D G 0.71kg F C R
4.35、D%57.5%赤肉率51.0%、骨率16.2%、
体脂肪黄色

ガーンジー

〔産乳性〕3,600kg、4.5%

搾牛速度やや小。脂肪球が大きく、バターが作り
易く、またカロチンを多量に含み黄色を呈する。

〔産肉性〕D G 0.8kg、D%58%

エアシャー

〔産乳性〕4,400kg、3.9%

脂肪球小さく、soft curdができる。

〔産肉性〕体型は乳用型であるが、肥育性がかなり
よく、D G 0.9kg、D%58%

レッドデーニッシュ

〔産乳性〕4,500kg、4.1%

〔産肉性〕肥育性に富み雄子牛の500kgまでのD G
1.0kg、D%61%

アングラー

〔産乳性〕4,500kg、4.5%

〔産肉性〕D G 0.9kg、D%60%

ノルマン

〔産乳性〕4,300kg、4.1%

〔産肉性〕500kgまでの雄子牛の肥育でD G 1.2kg、
D%58%、300kgまでではD%63%

ミューズラインイーセル

〔産乳性〕4,500kg、3.7%

〔産肉性〕500kgまでの雄子牛の肥育でD G 1.15kg、
D%62%

グローニンゲン

〔産乳性〕4,500kg、3.8%

〔産肉性〕500kgまでの雄子牛の肥育でD G 1.1kg、
D%60%

ブラウンスイス

〔産乳性〕国によりかなり変異がある。

(スイス、オーストリア、フランス)

4,000kg、4.0% (3.5%)

(ドイツ) 4,500kg、4.5%

〔産肉性〕ドイツでの雄子牛の肥育試験によると、
500kgまでのD G 1.1kg、D%62%、オーストリア
アで365日間の肥育でD G 1.2kg、D%59%

シンメンタール

〔産乳性〕スイス、フランスでは3,900kg 3.9%(3.4
%)、ドイツ、オーストリアでは4,000kg、4.0
%、平均搾牛速度2.1kg/分と低く、前乳区搾牛
率43%

〔産肉性〕成牛は骨太でD%56%と低いが尻の肉が
多く、若い牛はかなりよい。

エリンガー

〔産乳性〕2,500kg、3.7%

ショートホーン

〔産肉性〕15カ月齢までの雄子牛の肥育でD G 0.9
kg、D%66%

アングス

〔産肉性〕16カ月齢までの肥育で体重392kg、その間
のD G 0.8kg、D%64%、骨率は12.8%と低い。

ヘレフォード

〔産肉性〕アメリカでの成績では、雄子牛の肥育で
455日齢で体重401kg、その間のD G 0.83kg、D
%62.2%、骨率14.1%

シャロレー

〔産肉性〕一般に15カ月齢までの雄子牛の肥育で体
重580kg、その間のD G 1.3kg D%60% (フラン
スでの肥育成績)15カ月齢、体重544kg、D G 1.43
kg、F C R 7.1、D%60.3%、赤肉率71%体脂肪
率10%、骨率14%、20カ月齢では、体重681kg、
D G 1.2kg、F C R 9.2、D%60.2%、赤肉率69
%、体脂肪率14.5%、骨率13%

リムーザン

〔産乳性〕一般に雄子牛の肥育で15カ月齢で体重
550kg、D G 1.15kg、D%62%

ピエモンテーゼ

〔産乳性〕1,700kg、3.9%

〔産肉性〕雄子牛の500kgまでの肥育でD G 1.1kg、
D%57%

〔ヨーロッパ諸国の飼養牛種類〕

単位:%

西ドイツ	1979	フリーシャ 44.0	シンメンタール 30.4	赤白ホルスタイン 11.7	ドイツブラウン 10.3	アングラー 1.5	その他 2.1
フランス	1977	フリーシャ 37.1	ノルマン 22.1	シンメンタール 10.5	シャロレー 10.2	リムーザン 3.9	その他 16.2
イタリア	1973	フリーシャ 49.0	ブラウンスイス 20.1	ピエモンテーゼ 9.3	マルヘ 8.3	シンメンタール 5.8	その他 7.5
オランダ	1969	フリーシャ 69.8	ミューズライン イーセル 28.2	グロニンゲン 1.8	その他 0.2		
ルクセンブルグ	1975	フリーシャ 60.0	ミューズライン イーセル 35.0	その他 5.0			
イギリス	1974	フリーシャ 77.2	エアシャー 7.1	ショートホーン 1.2	ガンジー 2.4	ジャージー 1.9	その他 10.2
デンマーク	1978	レッドデニッシュ 21.2	フリーシャ 52.0	ジャージー 15.5	ショートホーン 1.8	ヘレンフォード 0.8	その他 9.5
アイルランド	1977	フリーシャ 71.5	ショートホーン 14.4	その他 14.1			
スイス	1973	シンメンタール 46.8	ブラウンスイス 46.8	スイス黒斑牛 4.5	エリンガー 0.8	その他 1.1	



シンメンタール種

〔飼養牛の産乳・産肉性〕

ホルスタイン(フリーシャ)

〔産乳性〕 5,000kg、3.5%

〔産肉性〕 体が大きいせいもあって発育がよい。D

G1.1kg、D%57%。しかし骨率17%、ロース芯

面積が小さいが、上級肉率は高い。

赤白斑ホルスタイン

〔産乳性〕 4,500kg、3.9%

〔産肉性〕 発育がよく D G1.1kg、D%60%雄子牛肥

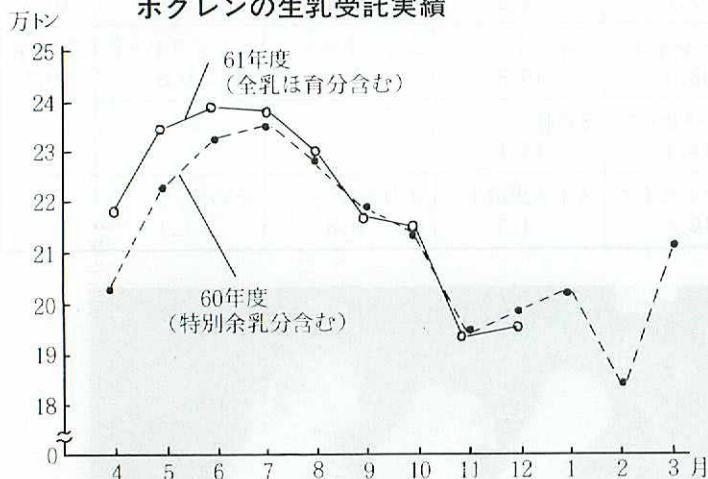
生乳計画生産の状況

あと三カ月が正念場受託は累計前年比一・九%増

ホクレンの12月分の受託乳量(地区別)

支所名	12月(トン)	前年対比(%)	4~12月累計(トン)	前年対比(%)
函館	6,730	98.7	68,745	103.3
倶知安	2,518	95.9	25,461	100.7
苫小牧	7,344	96.2	71,171	101.8
札幌	1,930	97.8	18,540	103.3
岩見沢	2,457	99.8	23,330	102.5
留萌	6,953	97.7	78,828	103.0
旭川	9,964	97.2	99,610	103.2
稚内	15,740	98.7	170,999	102.3
帯広	47,743	97.9	451,219	101.5
北見	30,273	99.9	304,525	102.2
釧路	27,482	100.4	277,101	101.9
中標津	37,287	100.0	394,417	101.0
総合計	196,422	98.9	1,983,945	101.9

ホクレンの生乳受託実績



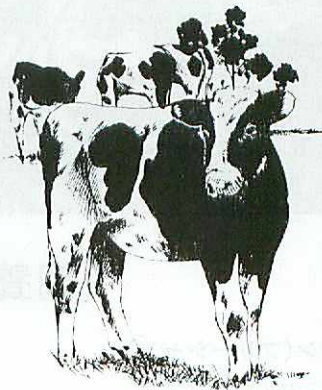
12月分の生乳受託乳量(管内農協別)

農協名	年間契約量(トン)	12月(トン)	前年対比(%)	4~12月累計(トン)	前年対比(%)
標津町	49,160	3,692	102.3	39,903	102.3
中標津町	63,240	4,823	99.1	49,945	101.2
計根別	56,520	4,277	99.9	44,658	101.8
西春別	66,960	4,973	99.9	53,123	102.2
上春別	36,970	2,688	101.3	29,411	100.7
別海	111,510	8,214	99.6	86,502	100.0
中春別	72,960	5,539	100.7	57,441	100.6
根室	40,200	2,918	97.8	31,412	99.5
羅臼町	2,403	163	100.4	2,022	103.6
計	498,923	37,287	100.0	394,417	101.0

昭和六十一年十二月分の生乳の受託乳量は十九万六千四百二十二トンド、対前年同月比一・一%減となったが、まだ減量が足りず、昨年四月十二月の累計では対前年比一・九%増の状況。今年度の生乳計

画生産(前年実績)の達成に今年一~三月の残り三ヶ月が正念場となる。昨年十二月分の地区別(ホクレン支所)の受託乳量は釧路の対前年同月比〇・四%増を除き、全地区で前年同月量以下となったが、

昨年四月十二月の累計では、全地区とも前年を上回っており、一~三月を対前年比五%以上の減産を實行しなければならぬ状況にある。計画生産を達成できずに超過を発生させれば必ず生産者の不利益になりますので、割当枠を超過しないように御協力をお願いします。



営農技術

土地基盤を有利に活用

北根室地区農業改良普及所

現状認識を踏まえて、長期的な経営戦略を確立する年

生乳の出荷調整が今後も継続され、さらに、基準取引価格の切り下げが予想される今、酪農経営にあつては大きな転換期を迎えている。また、畑作経営にあつても、澱粉を始めとする主要品目の値下がり

が予想を大きく上廻るかの情勢である。いずれの経営においても、生産コストの低下によつて粗収益の低下分を吸収するとともに、土地基盤を有利に活用する経営の展開を図つていかなければならない。

一、酪農経営における今後の展開方向

機械施設の投資が進んだ現在、乳生産コストの低下は自給飼料の品質と生産量の拡大によつて行わなければならない。購入飼料単価の低下によつて、購入した濃厚飼料の多給による乳生産が、あたかも所得を増加させるやに見える。しかし、そのことによつて自給飼料の量や品質を低下さ

せることになつては、経営として大きなマイナスである。自給飼料の豊富さ、質の良さが地域の特色であることを忘れてはならない。またこの豊富な自給飼料を土台として乳生産の効率化と同時に、副次部門の開設と充実を図つて行く必要がある。

現況で考えられる副次部門には、次のようなものがある。イ、老廃牛、とう汰子定牛の肥育出荷
ロ、初妊牛販売部門の強化
ハ、乳雄仔牛を主体とする肥育部門の開設

ニ、他作物の導入による新部門の開設
などである。

二、部門開設には十分な検討を

副次部門の開設には新たな投資を必要とする他、乳雄仔牛の肥育については開始価格や販売予定価格を十分検討しなければならない。また、副次部門の収益は現況主業部門

の充実度合によつて大きく左右されるものであり、現況経営のきめ細かな検討が必要である。例えば自給飼料の確保量が現況で不足の場合、育成や肥育部門の開設は乳生産部門の収益低下に継がることが多く、総体所得を低下させることになる。

次に資金運用の問題である。新規作物の導入や、乳雄仔牛の肥育部門の開設は、機械施設への新たな投資が必要となる。手持資金の額や借入資金の種類などを十分検討することが必要である。これらのことを総合的に検討し、慎重に対応しなければ、単なる部門の増加にとどまるばかりでなく所得の低下をも引き起こすことになる。

三、畑作における経営展開

畑作も酪農と同様に主要産品の価格低下は、避けて通れない状況にある。地域の主作物である馬鈴しょについても、澱粉の値下がりや生産指標が示される状況であり、今後徹底した生産コストの低下を図つていかなければならない。地域の畑土壌は長年の連作や、偏過作によつて化学性とともに物理性も最悪の状況にあり、今後、輪作体系の確立を最大目標に置いて進まなければならない。当面馬鈴しょを軸として、てん菜、麦類の導入増加を図り、短期輪作体系を確立する積極的な取り組みを試みることで、生き残れる唯一の課題である。

ばれいしょの黒あざ病に有効菌



十勝農試の発見に朗報を期待

道立十勝農試では、馬鈴しょの黒あざ罹病を農薬を用いずに防除する、抗菌微生物の培養に成功し、場内と一般農家で効果測定中である。土壌菌によつて罹病する黒あざ病は、食用、加工用ともに商品価値をゼロにする。農薬では病菌を死滅できないため、

五年前から微生物応用による防除を模索、道内各地で黒あざや、そうか病の少い土壌を集め、三百を超える有効菌と思われる中から二〇菌種を選び、黒あざ病に生物農薬試験を試みた結果、圃場毎にむらはあるが、病菌を着床までは抑える菌のデーターが得られた。しかし、併行試験中の黒あざ病と関係の高い、そうか病は本年圃場に発生せず、菌の効果は未確認のため、あと数年は観察が必要となるが各方面から朗報が待たれている。(昭六二・二〇・二二)

家族の中で昨年の営農や生活を振りかえり、今年の方針や計画について話し合われておられることと思います。農村の生活は、一般労働者たちが職場と家庭が密着し、生産と生活が同じ場で営まれています。

生産時間と生活時間、農業労働と家事労働が互いに入りまじり、はつきり区別できない場合が多く、経済面でも農業経営の費用と生活の費用が混同されやすいのです。

また収入も月々一定ではない等のことから、生活費の計画化もむずかしいと言われています。しかし、農業経営は農家にとって生活を維持するための経済活動です。所得に見合った生活をより向上させるためにも、今年一年のお金の使い方を考えて見ましょう。

一、収入の見込みをたてる

農業粗収入と経営費、所得はどのくらいか、あくまで原則は農業所得内で生活すること、(現況では一人年間80〜90万円程度)、何人家族でいくらか、年間の家計費をきめます。

二、支出のたいのの見込み

生活講座 51

収支バランスのとれた生活設計を

北根室地区農業改良普及所

をたてる。

家計費の総額がきまったら、次に今年一年の生活上の行事、多額の支出が予想されるものなど、わが家に合った費目配分をし金額を出します。

三、支出予算額のバランスをとる。

全体の金額がきまったら、次に費目間のバランスを検討し、中身をできる限り詳細に調べましょう。

例一 飲食費一人一日の金額を出し自家生産物の十分な活用を考えます。

四、月毎の支出額の配分

ここで終わってしまつて

は、具体的な計画とは言えません。時期毎に家族行事、仕事の計画に合わせ毎月の支出予定金額を算出します。

五、予備費の見積りをしておく

最後に大切なことは、予備費の計上です。最低でも5%必要でしょう。

次表の一戸当りの家計費試算を参考に、今年一年計画的予算生活をおくりましょう。

知っておきたい



根室税務署

◎所得税の確定申告は

正しく、お早めに

六十一年分の所得税の確定申告は、二月十六日から始まります。申告期限は三月十六日ですが、期限間近になりますと税務署は大変混雑し、落ち着いて相談できなかつたり、長時間お待ちいただくようなことにもなりかねませんので、確定申告はできるだけ早めにお済ませください。

〔正しい確定申告を〕

所得税は、自分の所得の状況を最もよく知っている納税者が、自ら税法に従って所得と税額を正しく計算して申告し、納税するという申告納税制度を採用しています。昨年一年間の所得と税額を正しく計算し、お早めに申告と納税を行ってください。



〔白色申告も〕

収支内訳書の添付を

事業所得や不動産所得、山林所得を生ずべき業務を行っている場合(青色申告書を提出する場合を除く)は、六十一年分の確定申告書を提出するときに、その年の総収入金額や必要経費の内容を記載した収支内訳書を添付することになっていきます。



標準的家計費(試案)

標準的家計費(試案)				家族構成 夫、妻40歳代、父母60歳代、子供(中学生1人、小学生2人)
費目	金額(千円)	割合(%)	改善方向	
飲食費	1,533	28.3	牛乳、野菜で30万~50万自給可能、1日の1人当り食費600円	
被服、身のまわり費	350	6.5	手づくり、リフォームの工夫、購入時の工夫	
住居費	254	4.7	住宅、家具はこまめに手入れして、耐用年数を伸ばす	
光熱水費	322	5.9	熱効率の高い暖房の利用、まきの有効利用 電気製品の使用方法工夫	
保健衛生費	293	5.4	家族の健康診断、病気になる予防対策	
通信費	92	1.7	電話の効率的利用(長距離、長電話)	
学校・教育費	268	5.0	高校までは経常家計の中で、大学は資金準備	
教養・娯楽費	414	7.6	心の充実、家族そろって楽しむ経費	
交際費	250	4.6	接待、贈り物は自家生産物の有効利用	
自動車費	560	10.3	できる限り保有台数は少なく、耐用年数の延長	
諸負担金	285	5.4	年金、共済他、特に共済掛金の適正化	
こずかい・雑費	492	9.1	自由に使える定額小遣は家族全員に	
臨時費	300	5.5	臨時的支出	
合計	5,413	100	総体家計費	



◎脱税は割に合わない

多くの納税者は適正な申告と納税を行っています。申告しなければならぬのに申告しなかったり、誤った申告をしたり、あるいは故意に過少な申告をする納税者も見受けられます。

そのために、国税局や税務署では的確な調査を行い、申告に誤りや不正がある場合には、正しい申告に改めてもらうなど、適正公平な課税の実現に努めています。

また、特に悪質で大口の脱税者に対しては、不足している税金を納めさせるだけでなく、刑事罰をも科すことを目的とした査察調査を行います。

この査察調査により脱税の事実が判明すると、刑事事件として検察官に告発し、更に検察官によって裁判所に起訴され、裁判により有罪になると、懲役または五百万円(脱税額が五百万円を超える場合は脱税相当額)以下の罰金となるか、あるいは懲役と罰金の併科となります。

査察調査



このように、脱税をすると本税はもちろんのこと、重加算税や延滞税を納めなければならぬほか、裁判により懲役刑や罰金刑を受けます。その結果、長年かかって築いた社会的信用や地位を失ったり傷つけたり、また親や子など家族を悲しませることになるでしょう。

脱税は犯罪です。国民一人一人が所得に応じて負担しなければならぬ税金を不当に免れることは、正しい申告と納税を行っている善良な納税者を裏切ることになります。

(単位:千円)

昭和六十一年度 根室生産連家畜市場実績

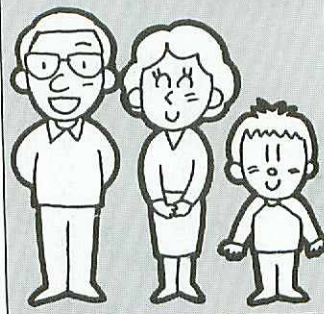
61・4〜61・12

「売り易く、買い易い」をモットーに
毎回多数の家畜が相場としております。

◎場所 中標津町南中◎定期市場 毎週水曜日
◎セリ開始 午前十時

種別	区分	上場数	成立数	売買金額	平均	最高	最低
乳牛	育成 (12ヶ月以下)	139	130	21,072	162	276	22
	“(12ヶ月以上)	307	285	69,502	244	382	121
	初妊牛	482	394	145,633	370	500	191
	経産牛	520	437	155,450	356	521	171
	小計	1,448	1,246	391,657	314	521	22
肉牛	初生トク	260	237	12,785	54	139	8
	牡トク	608	553	87,348	158	430	9
	去勢 (12ヶ月以下)	524	510	110,796	217	560	49
	去勢肥育 (12ヶ月以上)	160	137	67,458	492	811	175
	育成牛	1,864	1,682	390,937	232	672	10
	未經産肥育牛	231	196	97,471	497	661	103
	成牛	3,978	3,560	1,001,297	281	770	61
	小計	7,625	6,875	1,768,092	257	811	8
その他 (馬・羊他)		13	10	697	70	400	25
生産連市場計		9,086	8,131	2,160,446	266	811	8
前年度同期実績		7,301	6,589	1,664,003	253	763	3
実績対比		124.5	123.4	496,443			

円高と生活

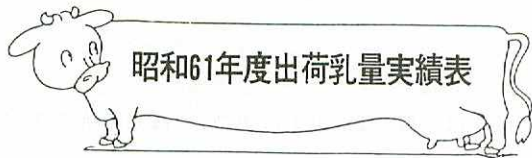


昔から「腹八分医者いらす」といっている。成熟化社会に入り、節食の時代といわれている現代、人間の欲望をどの辺で断ち切るか。金さえ出せば欲しい物は何でも手に入れることができる世の中になっている。

消費宣伝のCMに乗せられ、消費者は王様とまではやされ、うまく口車に乗せられていると裸の王様にさせられるのがオチとなる。暮らしの計画性、自主性をもって、農村の特徴である自給(手づくり)を高めることが大切である。円高の中で内需拡大を図る企業戦

略の農村市場をめざした売り込み攻勢の消費宣伝に乗せられて、必需品以外のものを買わされかねない。円高百五十円台の影響がジワジワ浸透し、失業率も三割以上となり、物価は安定しているとはいえず、所得の伸びる見込みは少ない。「入るを図り、出するを制す」が原則である。

世論調査では、「物」より「心」の豊かさを重視する人が多くなっており、暮らしの質の向上とゆとり、生きがいがあり重視されている。これには健康と家族のきずなを深めなくてはならず農村の優位性が発揮される。



(61.4.1~62.1.31) 中標津町農業協同組合

	出荷乳量		前年比(%)	
	60年	61年		
4月	4,518,100.0	5,090,083.3	112.7%	
5月	5,211,780.0	5,658,333.0	108.6	
6月	5,967,650.0	6,104,848.7	102.3	
7月	6,244,460.0	6,176,869.5	98.9	
8月	6,160,560.0	6,096,705.9	99.0	
9月	5,807,570.0	5,692,194.7	98.7	
累計	33,910,120.0	34,819,035.1	102.7	
10月	5,601,570.0	5,517,240.1	98.5	
11月	4,977,910.0	4,785,811.7	96.1	
12月	4,867,058.2	4,822,590.7	99.1	
累計	49,356,658.2	49,944,677.6	101.2	
1月	上旬	1,566,471.8	1,537,526.5	98.2
	中旬	1,552,681.8	1,509,732.9	97.2
	下旬	1,692,573.1	1,650,097.5	97.5
月計	4,811,726.7	4,697,356.9	97.6	
累計	54,168,384.9	54,642,034.5	100.9	



地方競馬全国協会の六十一年補助事業による農用種雄馬の外国馬購入に、日本馬事協会小山専務理事、地方競馬全国協会神谷改良助成課長が委

託を受け、九月十八日から十月八日、渡仏し選定購買を終えて根室生産連に配置になりました。中標津町農協が十二月十日借受けをし、馬事愛好会開陽地区の小塩照男氏に貸付しました。貸付種雄馬は、ペルシロン種三才で名号ソノラ号II写真II毛色芦毛体高一六五センチメートル、胸囲二四〇センチメートル、管囲二七センチメートル、価格三七〇万円です。多くの皆さんの供用をお願いします。



中標津町乳牛改良同志会 第16回定期総会開催される



乳牛改良同志会(佐藤会長)が、一月二十六日第十六回定期総会を開催され、議長に高橋勝義氏を選出し、提出議案の審議が行なわれ、議案第一号昭和六十一年度の事業及び収支報告議案第二号昭和六十二年度の事業及び収支計画が原案通り承認されました。六十二年事業計画は次の通りです。

- 一、審査講習会の開催
- 一、B&Wシヨウの開催
- 一、高能力牛の表彰
- 一、視察、研修の実施
- 一、宣伝広告の実施
- 一、根室ホルスタイン改良協議会事業への参加
- 一、道東地区改良協議会事業への参加
- 一、その他

胞検査成績

※30万以下は空欄。31万以上は実数。∞は無限大です。

氏名	細菌			細胞			氏名	細菌			細胞		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
中本要		54			54		加茂正毅						
半沢利平		36					佐々木政行	48			57	140	36
国見一男	22	39			33		三友盛	48					
国見実		150			72	81	高島真作						
斉藤哲雄	42		140	51	39	66	福島信一						
斉藤栄七			48				古田起雄						
伊藤秀子				66	39	63	本田明				36		
千葉清正				69	42		中村敏夫						
村井直				45	42		真野俊夫						
山崎隆				48			多田俊夫			140	99	56	63
後藤信夫				63	42		小岩正一					36	
斉須清志	150	51		90	72	36	伏見哲弘						42
今井清							中川						33
山田昭男				66	45								
房川和洋				72									
井上芳行					48		丹羽孝一				33	33	
笠井剛					54	63	丹羽賢一					69	
赤堀岩男				69	45	66	中司哲雄				45	45	33
鈴木敏夫					33		上原正儀					45	
開陽牧場		96	240			33	工藤清高					36	42
							舟橋清志					51	36
							酒井清隆						42
						63	目黒雅重					36	
名越優							工藤重美			78		36	
乾雅					33		児玉光彦					33	
乾洋一					48		坂口慶和		39				
伊東信雄				36	39		白田一隆	75	54	590			
大山下孝二				42		57	川上隆寿				39		36
北川栄治					96		長谷川						
水本正二						36	花尻武夫					69	96
水本みどり				48			中条由治					45	33
山本清					33		奥村協			63			
榎田英雄					39	45	萱岡秀貴						
佐々木昭雄							高橋昌信				260	130	45
野口史朗						39	中藤原勝一					33	69
太田功郎							藤林文雄						
岡次郎					130	57	佐藤敏昭				120	57	81
金子安有							佐藤一賢				87	36	39
高野国雄							清原一稔	51					45
中林忠雄				33	51	48	原山					63	130
工藤隆弘				33	33		湯馬正志						
赤波江清				33	33	36	門中	96		390	99	23	
沢口俊夫					45	45	石原竜			51	72	69	140
桜井義雄							西井武						
西山健							土井信一	36					
大西一郎				33			土井上						
福島英昭							小沼悟				69		36
下川原政市							熊谷正信				48		
三輪貞夫					42		山本雪	160		330			
西山宏					48		山本野光						36
佐々木邦夫					42	36	寺島					42	
日下一芳							佐藤憲						
赤波江一彦		78		110	210			170		370		51	

武佐地区

俵橋地区

細菌検査の結果表示について、従来まではランクで表示していましたが、実数で示す事になりました。
細菌数200万以上400万迄は5円、400万以上は50円のペナルティが課せられます。

1月分細菌・細

氏名	細菌			細胞			氏名	細菌			細胞			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
当幌地区							石崎多門	57						
飯島光五郎							林仁一郎			390	42	63	33	
飯島清佳							高藤祐蔵				36	84		
奥田勝雄						33	高連田弘幸			39	93	120	170	
奥田建雄	42					45	永谷雄	90	110				81	
中山進一						25	長繩弘勝							
阿部俊勝		69					麻郷地忠勝							
鈴木祥幹	93		130				小針和也	25	190	54		25	90	
西垣丈夫						39	花川秀一						33	
小原治行				100	28	48	古沢翠					42	36	
吉田正行							花川稔男						51	
竹村満次					39	60	今井照男						39	
高橋常富					84	25	岡部善行			25	54	48	60	
筒井良秋							渡辺善健					72	81	
室井祐二							松隅瀬					42	60	
安田一稔						48	古藤久夫				48	69	66	
山田吉男						45	小川清						39	
山田正義						45	佐藤道嘉					33		
舟地正良						42	佐藤末美					36	57	
菊地要三							佐藤永雄						84	
遠田清						39	佐藤東博						42	
長正路富					57	42	白築政男							
大吉成					33	39	望月幸男			42	36			
福村守成							武田勇夫				36	36		
遠藤弘成		190				42	高橋敏夫							
中標津地区							熊倉彦吉			99			60	
綏坂欣一							小阿部正三							36
綏坂恭久							佐藤三男				42	39	39	
吉川晴二					33									
滝場慎一郎						39								
久保慶夫														
久我純一					39	36								
正城昭一												45	51	
荒井幸一		57	390				土井上昭男							
桜井繁雄	33	42			33		山田輝男	150						
佐々木信義							吾妻紀巴							
佐藤信章						36	桜井勝義	33	28	170	42	33	36	
三山幸一							高橋トモ							
下山幸一							中本良夫					54		
長瀨貞義						33	丸田修					45	87	
							鈴木橋一					66	150	
							高橋平幸						25	

質のよいミルクを
 つくるために
 これだけは
 守りましょう。

[6つのルール]

- 手と乳房を清潔にすること
- 搾乳装置を正しく選び正しく使うこと
- ミルクの適切な冷却と貯蔵
- 搾乳が終るたびに洗浄
- ライナーとミルクチューブの定期交換
- ミルクシステムの定期点検

1月分細菌・細胞検査成績

氏名	細菌			細胞			氏名	細菌			細胞		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
佐藤忠男							新井範美						39
佐藤和男							片野博						
塩田専治	69	66					第二俣落地区						
五十嵐輝夫			60	39			西村和之					42	78
田中輝繁			140				西垣洋		110	48			
山本秀夫				36	57	84	保科清	210	290	57	54	78	54
安達和永				48	33		松岡晴美	210	120	00			
志賀詔正	78	260					田代昭一				57	39	
志賀正一治						51	井口則一				51	66	
篠永栄							安江孝男				51	42	51
俣落地区							齊藤靖						42
原栄一				33		42	山口幸樹				36		
大木敏夫	39						山峰秀一						
小林金松							沖片岡宅次				69	93	90
岩井寿昇							弾正原正						36
服部一好					45		国光昭				48		42
遠藤幸一	90				48	36	遠藤直						
遠藤正文							佐藤伯雅					39	
高橋文晴	150						米栖清						
小山村茂							川村繁			60			
菅村正弘		99	69				加藤野司						
上原弘志					63		萩原本				36	42	
上村重光						110	滝ヶ平				60	36	63
上村力							内山栄						45
松本正通				48		33	八木明治				120	72	90
藤原信雄							中浦健					48	
遠藤照一							前原秀隆						
阿部利春	570			42		57	町田芳照						
上ヶ島利民				42	51	48	房川喜正						
山崎清一					36	39	宮脇保夫						
藤田誠一				54	45	33	富谷茂夫		75				42
藤田持幸						69	武田三郎						
遠藤与畏							藤井弘美						
宮田実				93	45	45	北村一仁						75
鷺見孝愈					36		杉本匡義	130					
真部利秋						69	田本島義						
渡辺清信						36	田佐藤				45		
小相武雄						69	松本幸						
太田直行				100			飯野盛						33
小谷盛一				33		33	横田国						
秋山政一				39	42	51	竹柳治郎				51		
齊藤勉		270	380				青木喜三						
広瀬清美							青木ふ						
半沢和夫						39	青木好	170					
笠原良志				36	39	36							
武田淳					45								
後田意				66	45	54							
久保栄													

※30万以下は空欄。31万以上は実数。∞は無量大です。

12月分細菌・細胞検査成績

氏名	細菌			細胞			氏名	細菌			細胞		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
佐藤忠男							新井範美						
佐藤和男							片野博						
塩田尊治			42										
五十嵐輝夫						45							
田中本理	36						第二俣落地区						
山本達和			54	51	57	51	西村和之	87	180			66	48
安志賀正					33	36	西垣洋			78			
志賀正							保科清	96		51		42	
篠永			110				田岡晴			33			
							松田昭					36	51
							井口則一						
							安江孝男						
							安江持昭					42	
原栄一						33	山持藤						
大木敏夫		51	33				山崎幸						
小林金司						33	峰松秀	66	230				
板橋昇							沖一美						
岩井一好							片岡宅次				69		75
服藤幸一					39	57	彈正春						
遠藤正幸					63	39	国光昭					51	36
高橋文夫	250					51	遠藤直						
松村晴						57	佐伯雅						42
小山村正	230	130					来栖寛						36
菅原弘志			63				川村清						36
上村弘重						45	加藤繁						33
上村重光							星野昇						
上村力							滝本広					39	78
松本正通					78	57	滝ヶ平義				36		33
藤原信雄					42	42	内山栄			39			
遠藤照一							八木明治					93	120
阿部利春	440	75	45	75	57	57	中浦健				33	39	36
上ヶ島利民		42	36	51	45		前原秀		51	54	42		
山崎清							房川喜						
藤田誠一		48			39	33	宮脇正						
藤田幸男	66				39	25	富沢保						33
遠藤与畏					51	48	谷村茂						60
宮田実孝					54	84	武田三						
鷺見孝愈						33	藤井弘						
真部秋	51						北村一				33		
渡辺利信						45	杉田匡						
小出清武					51	51	田本義						
相沢直盛					51	33	佐藤康						
小谷盛政							飯野盛					33	
秋山雄							横竹国				48		
斉藤勉			48				柳下日					36	45
広瀬清							柳田治	90					
半沢良美	81						青木喜						
笠原淳志							青木ふ						
武田淳志			39	33	36		横田好	300					
後木意子					57	96							
久保栄	140	33			33								

※30万以下は空欄。31万以上は実数。∞は無人大です。

昭和62年2月10日

胞検査成績

※30万以下は空欄。31万以上は実数。∞は無限大です。

氏名	細菌			細胞			氏名	細菌			細胞		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
中本要				54			加茂正毅				60		33
半沢利平		25			45		佐々木政行		69			45	42
国見一男	36						高島盛真						
国見実雄				39		22	福島信一						
斉藤哲栄				36		48	古田起雄						
伊藤秀子			150	72	25	81	本田明夫						
千葉清正							中村敏夫						
村井直行				33		36	真野俊夫				51	110	84
山崎隆							多田正一						81
後藤信夫					39	39	小岩哲						42
斉須清志				75	60	69	伏見哲弘					33	42
今井靖清							中川	130	39				
山田昭男				93	110	130	武佐地区						
房川和洋	45	210					丹羽孝一	69			60		
井上芳洋				42	33		丹羽賢一						
笠井剛				33		45	中司哲雄						48
赤堀岩男	48	36		39	39	33	上原正儀						
鈴木敏夫				36			工藤清高				39	36	
開陽牧場							酒井清志				39		
俣橋地区							目黒雅隆				25	42	
名越優晴				33	48		工藤重美						42
乾雅洋							児玉光彦				45		
伊東信一							坂口慶和	96					39
大山富雄							白井精一	72				51	
山下孝二				45			川上隆寿						
北川栄治						36	長谷川武夫				72	75	
水本正二						39	花尻由治				51	60	39
水本みどり					42		中村協貴	51		51			
山本清雄					36		奥村秀昌		45		51		
榎田英雄					45	51	萱岡昌信				39		
佐々木昭雄		45			78		高橋秀夫					60	60
野口史朗					45		中藤勝一	130				60	39
太田功郎							林文雄						33
岡次郎					42		佐藤敏昭						36
金子安有					48	42	佐藤一昭	270	360		57	69	96
高野国雄							清原賢一					66	57
中林忠雄					36	39	清原一稔						39
工藤隆弘				36	42		山正志				57	48	45
赤波江清夫				39	33		門馬文夫				42		
沢口俊雄					36	45	中塚文雄				69	57	110
桜井義健			150			66	石原武			36		48	54
西山一郎	33				60	90	西井信一			42			
大西英明	36						土井晴夫						36
福島昭憲							土井悟						33
下川政市							小沼正信	48	33			36	36
三輪貞夫							熊谷雪章						36
西山宏夫	33	330			36	60	山本野光						
佐々木邦夫						72	真寺島享						33
日下一芳							寺藤憲						33
赤波江一彦					51			69				33	36

細菌検査の結果表示について、従来まではランクで表示していましたが、実数で示す事になりました。細菌数200万以上400万迄は5円、400万以上は50円のペナルティが課せられます。

12月分細菌・細菌

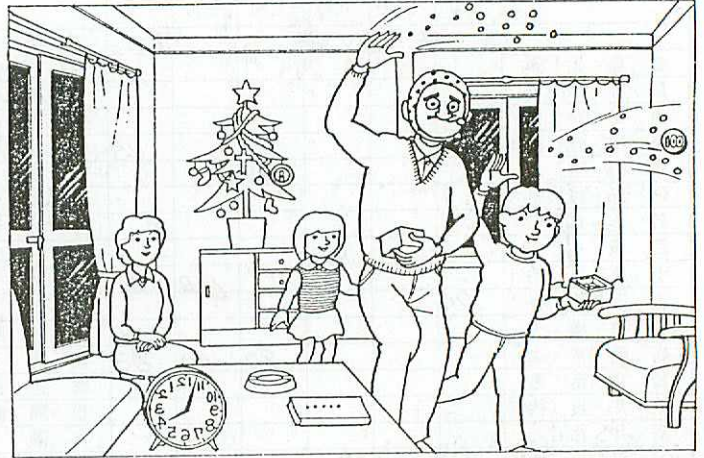
氏名	細菌			細胞			氏名	細菌			細胞		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
当幌地区							石崎多門		100				
飯島光五郎							林仁一郎				45	45	
飯島清佳							高藤祐藏						45
奥田勝雄							連永弘				84	84	99
奥田建雄					33		連谷雄幸	84					
中山進一					48		長繩弘勝						
阿部俊勝							麻郷地忠勝		240				
鈴木祥幹							小針和也		72	100	180		45
西垣丈夫						42	花川秀一				51		
小原治行							花川翠	36				45	39
吉田正行	75					110	花川稔男			150			
竹村満次							今井照男						
高橋常富					90	100	岡部実行		93			36	48
筒井富良秋							渡辺善行		110		96	63	120
筒井良祐							松隅健		39			78	36
安田二稔							藤本久夫		39		36	45	48
山田一男							小川清		36				
松田吉正					66	42	佐藤道嘉					48	
舟田正義						42	佐藤末美				110	51	54
菊地良三						33	佐藤永雄						42
遠田要三						45	佐藤東博						
長正路清夫					42		白築政博				39		
大野富務					60	57	望月幸男	84			33		33
福村守成							武田勇夫				110	39	57
遠藤弘成						90	高橋敏夫						
中標津地区							熊倉彦吉						
綏坂欣一						48	小林茂雄	33					
綏坂恭民							阿部正六		230			66	
吉川晴久							佐藤三男				45	51	
滝場慎二						42	開陽地区						
久保慶一郎							土井上昭男						
久我良夫					63	39	山田輝男	54					
正城純一						69	吾妻紀巳夫						
荒城昭一		390					桜井寿夫		140	45		36	36
桜井幸一							高橋勝義					42	45
佐々木繁雄				25			中本トモ						
佐藤信義							丸田良夫				39	33	78
三森章司	150						鈴橋修男				66	54	51
下山幸一							高橋一男				33	84	140
長瀬貞義							高平幸夫						57

質のよいミルクを
つくるために
これだけは
守りましょう。

【6つのルール】

- 手と乳房を清潔にすること
- 搾乳装置を正しく選び正しく使うこと
- ミルクの適切な冷却と貯蔵
- 搾乳が終るたびに洗浄
- ライナーとミルクチューブの定期交換
- ミルクシステムの定期点検

間違いさがし



この絵の中には、いくつ間違いがあるでしょうか。間違いを見つけて、その数をハガキに書いて送って下さい。

〔応募規定〕

- ①官製ハガキに答えを書いて送って下さい。
- ②あなたの氏名・住所・年齢を書いて下さい。
- ③対象者 小・中学生
- ④宛先 中標津町東七条南二丁目 中標津町農協組織広

報係

⑤締切日 二月二十日まで

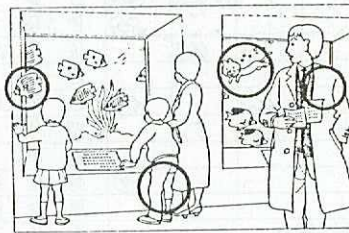
※正解者には当り賞、応募され、残念だった方には参加賞を差し上げます。なお、賞品は農協へ受け取りに来て下さい。

※発表は、四月号紙面で行います。

〔十二月号の当選者〕

十二月号の正解は「四つ」(下の図の○印)でした。応募者数四名で正解者は、二名でした。

〈12月号の間違い箇所〉



正解者は次のとおりです。
南 中 滝場光世ちゃん
依 橋 中林誠司くん

1月の組合日誌

- 5日 管理部・ストア・スタンド業務開始
- 7日 一般業務開始
- 9日 土壌診断事業研修会
- 12日 酪農実習生受入協議会役員会
- 12日 酪農実習生受入協議会通常総会
- 14日 馬鈴しょ振興会役員会
- 16日 第5回生産委員会
- 16日 てん菜生産振興会役員会
- 20日 乳牛改良同志会役員会
- 21日 馬鈴しょ振興会総会
- 23日 てん菜生産振興会定期総会
- 26日 乳牛改良同志会総会

表紙写真



今月号の表紙写真は、依橋地区の金子ひろみさん(三〇)です。
結婚して八年目になり、六才と四才になった元気な男の子、二才になり「バイバイ」が出来るようになった可愛い女の子と、また、四人目が来月誕生の予定で子室に恵まれています。
「牛飼いと子育ての真最中で忙しい毎日ですが、婦人部の料理講習会や催し物には積極的に参加して見聞を広めたい、これからは確りした計画を持つこと、周囲の良い所は学びたい」と経営意欲に燃えて健康で明るい若奥さんです。